

第28回 小学館 ノンフィクション大賞

大賞
300万円

募集

第28回となる小学館ノンフィクション大賞では、読む人にこれまで以上に驚きや感動をもたらすエンターテインメント色豊かなノンフィクションを募集します。ジャーナリスティックな視点を持った政治・経済・社会・スポーツなどの世界を描いたドキュメント、著名な人物の知られざる一面を描いた評伝などはもちろんのこと、独自の視点やアプローチから現代社会の一面を切り取った作品を期待します。



■選考委員
星野博美

ノンフィクション作家。1966年、東京都生まれ。2001年、返還前後の香港を描いた『転がる香港に苔は生えない』で大宅壮一ノンフィクション賞、12年『コンニャク屋漂流記』で読売文学賞を受賞。その他に『謝々! チャイニーズ』『みんな彗星を見ていた』『旅ごころはリュートに乗って 歌がみちびく中世巡礼』など。



■選考委員
白石和彌

映画監督。1974年、北海道生まれ。1995年、中村幻児監督主宰の映像塾に参加。以降、若松孝二監督に師事。2010年、『ロストパラダイス・イン・トーキョー』で長編デビュー。13年公開の『凶悪』で日本アカデミー賞優秀監督賞・脚本賞などを受賞。代表作に『日本で一番悪い奴ら』『孤狼の血』『ひとよ』など。



■選考委員
辻村深月

小説家。1980年生まれ。千葉大学教育学部卒。2004年「冷たい校舎の時は止まる」でメフィスト賞を受賞し、デビュー。11年『ツナグ』で吉川英治文学新人賞、12年『鍵のない夢を見る』で直木賞、18年『かがみの孤城』で本屋大賞を受賞。他に『凍りのくじら』『ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。』『朝が来る』など著書多数。

- 原稿枚数／400字詰め原稿用紙に換算して200～300枚程度。
ワープロ原稿の場合は1行40字×40行の縦組みで50～80枚程度。表紙に題名、住所、氏名（筆名の場合は本名も明記）、年齢、電話番号、職業を明記。
1200字程度の「梗概」（あらすじ）を添えて、郵送または宅配便でご応募ください。
- 応募資格／応募者はプロ・アマ、性別、国籍、年齢を問いません。グループ、共同著作も可。未発表の作品に限りませんが、雑誌などで発表された作品、ブログなどで公表されたことのある作品については、追加執筆による未発表部分が半分以上であれば可。自費出版物については、書店に流通していなければ可。
- 応募締切／2021年8月末日（当日消印有効）
- 応募先／〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 小学館 ポスト・セブン局 「小学館ノンフィクション大賞」事務局
- 賞金／「ノンフィクション大賞」300万円
- 発表／2021年12月頃『週刊ポスト』『女性セブン』誌上
- お問い合わせ先／小学館ノンフィクション大賞事務局 電話03(3230)5800
- 注意事項
 - ※応募原稿は返却しません。必ず控えのコピーをおとりください。
 - ※いかなる場合でも応募作品の成否についてのお問い合わせには応じられません。結果については上記各誌面、及び小学館HP上のみの発表とさせていただきます。なお、最終選考に残った応募者には、2021年9月末までにご連絡します。
 - ※受賞作の出版権、映像化権等は、すべて小学館に帰属します。その場合の権利料は、賞金に含まれます。
 - ※他社主催の賞との二重応募は厳禁です。発覚次第、無効とします。

主催＝小学館『週刊ポスト』『女性セブン』